



第 22 号 令和 6 年 10 月
発行 番町小学校同窓会
〒 102-0085 東京都千代田区六番町 8
千代田区立番町小学校内
TEL 080-3012-1001 FAX (03)3263-3731
HP : <https://bancho-obog.com>
編集 番町小学校同窓会事務局
印刷 株式会社 精興社



若き卒業生の同窓会

アンダー
U-22

『若き卒業生の同窓会』



同窓会事務局長 明石 寿夫

令和 5 年度 アンダー U-22 の会
(新中学 1 年生から大学生まで対象)

今年も、3月の卒業式が終わった3月30日(土)に、アンダーU-22の会が番町小学校の講堂で開催されました。(実際には、コロナで3年間開催されなかったため、昨年がアンダーU-23、今年がアンダーU-22の会として行いました)

まだ、卒業して間もない方から、新高校生の節目に参加された方、新成人の記念に参加された方と、多年代にわたる約70名の同窓生の参加を頂きました。土曜日なので、部活を終えてから参加された中学生や高校生もおられ、徐々に人数が増えていく形になり、丁度、ゲームがはじまるころに最大人数になった感じでした。商品券などがあたるビンゴゲームに、特に、中学生が夢中になり、当選者が出る度に、大歓声。本当に、楽しい時間が、あつというに過ぎていく感じでした。最近、人気テレビ番組で、鎌倉の文化・宗教の歴史的解説もされた西岡副会長に、最後の挨拶をしていただき、来年にも繋がるよう今年のアンダーU-20は、幕を閉じました。元来、この企画は、若い方々が、自分たちの観点から、企画・運営をされる同窓会です。

ぜひ、来年は、学生の皆様に企画をし、運営してみてくださいはどうでしょうか? 今年も、途中でBGMをかけてくださった方、自己紹介の時、積極的にマイクを持ってくださった方がいましたが、お仲間で声掛けあって、準備会へのご参加をお待ちしています。みんなが企画し、参加したいと思う同窓会にしていきたいです。

U-22の参加者アンケート回答

●今後どんなイベントをやってほしいですか？

- ・クイズ大会 (多数意見)
- ・ダンスパーティー (多数意見)
- ・ドッチボール大会 (多数意見)
- ・バスケットボール (多数意見)
- ・校内かくれんぼ (多数意見)
- ・カラオケ大会 (多数意見)
- ・リレー、鬼ごっこ
- ・絵しりとり (チーム戦)
- ・じゃんけん大会
- ・担任の先生を交えて学年別パーティー
- ・校内見学
- ・うまい棒タワー
- ・ビンゴは続けてほしい
- ・爆弾ゲーム
- ご意見、ご感想
- ・とても楽しかった。(多数意見)
- ・また参加したい (多数意見)
- ・ビンゴが楽しかった。希望の景品当たらずがっかり。
- ・もう少し同学年の人と会いたかった。
- ・少し退屈だった。



令和6年 学年幹事会 報告

令和6年6月23日(日) 14時～16時
 番町小学校 3階 ランチルーム
 出席者20名 議決権行使・委任状65名
 議案はすべて承認され、若い方にとつて参加しやすい同窓会になるように、意見交換がされました。

- | | |
|-------|----------------|
| 第1号議案 | 令和5年度事業報告 |
| 第2号議案 | 令和5年度収支決算・監査報告 |
| 第3号議案 | 令和6年度事業計画 |
| 第4号議案 | 令和6年度予算 |

令和5年度事業報告

- ① 学年幹事会 令和5年6月18日(日)
- ② 事務局会議・懇親会 令和5年 5/8・5/19・7/7・10/11・12/3
- ③ 同窓会U-50、OBOGの集い、新年交歓会 すべて中止
- ④ U-22 令和6年3月30日(土) 14時～16時半 番町小学校講堂 70名参加
- ⑤ 会報21号発行及び発送(印刷7,000部、発送6,101通 1通94円)(在校生・教職員450通)
- ⑥ 同期会、クラス会へのバックアップ(会報の原稿謝礼) 6件
- ⑦ 同窓会HP運営 記事の更新、U-22の参加希望をQRコード受付
- ⑧ 名簿管理
- ⑨ 番町小学校行事 入学式・運動会・学芸会・卒業式 出席
- ⑩ 地域・愛育会行事への協力 番町こども会・夏季ラジオ体操 参加
- ⑪ 資料室整備 ガラスケース・キャビネットを購入 校史パネル取付け

令和5年度 決算報告

令和6年3月31日 貸借対照表(単位:円)

資産の部		負債の部	
手元現金	11,481	未払金・借入金	0
普通預金(みずほ銀行)	7,588	貸付金(150周年記念からの貸付金)	0
定期貯金(郵貯)	10,350,000	資本の部	
通常貯金(郵貯)	738,594	事業準備引当金	10,350,000
資産合計	11,107,663	次期繰越金	757,663
		負債・資本合計	11,107,663

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの収支計算書

1 収入の部 (単位:円)

	令和5年度決算	令和5年度予算	摘要(決算関係)	令和4年度決算	令和4年度予算
前期繰越金	862,610	862,610		820,661	820,661
卒業生入会金	68,000	70,000	令和5年度卒業生 68名 × 1,000円	73,000	70,000
年会費・寄付	3,228,000	1,800,000	会費1,328,000円、寄付1,900,000円	2,037,000	1,800,000
雑収入	2,941,097	30,000	150周年基金より受入	335,000	600,000
利息	4,090	2,000	定期貯金満期利息など	4,116	100
定期貯金満期金	1,200,000	0	満期になった定期貯金が普通口座に繰入	2,000,000	2,000,000
収入合計	8,303,797	2,764,610		5,269,777	5,290,761

2 支出の部 (単位:円)

	令和5年度決算	令和5年度予算	摘要(決算関係)	令和4年度決算	令和4年度予算
活動費	394,938	250,000	学年会補助(後援代)U-22、卒業生記念品、卒業アルバム代 他	1,535,606	2,800,000
通信費	726,378	700,000	会報送付7000部、各種案内送付、切手代	681,537	800,000
印刷事務費	207,054	250,000	封筒作成、文房具、振込用紙作成	232,621	500,000
会報作成費	484,000	500,000	会報第21号	472,573	700,000
慶弔費	0	10,000	生花 香典代	0	30,000
HP関係費	63,074	170,000	HP 更新料	163,350	170,000
備品費	0	30,000		0	50,000
修繕費	0	30,000		0	50,000
雑費	20,690	20,000	振込手数料他	21,480	10,000
	2,700,000		定期貯金積み直し120万円、新規150万円積立		
事業準備引当金 繰入	2,941,097	700,000	150周年基金繰入	1,300,000	100,000
	8,903		かつらぶち口屋より出金→上段と合算し定期貯金		
予備費	0	104,610		0	80,761
次期繰越金	757,663	0		862,610	0
支出合計	8,303,797	2,764,610		5,269,777	5,290,761

3 創立150周年記念事業基金

令和4年7月の同協賛会解散に伴い、残金により教育支援を目的とする基金が設立された。管理について当会が受託し、今年度は、主に記念資料室の整備として支出、残金2,941,097円となった。令和6年3月31日をもって同基金を解散した。残金を本会の雑収入に計上し、本会より8,903円を足して定期貯金に繰入れた。

前年度からの繰越金	4,133,167
支出	1,192,070
雑収入	2,941,097
残金	

経理報告 令和5年度決算を下記の通り報告致します。

令和6年4月1日

経理 古澤正夫 本木京子

監査報告 預貯金通帳その他の書類を監査しました結果、正確かつ適正であることを認めます。

令和6年4月28日

会計監査 和田 一郎

金子 順一

令和5年度 収支決算報告

令和5年度 収入

年会費 641件 1,328,000円 寄付 196件

合計 1,900,000円

入会金 3,228,000円

令和5年度卒業生 68名 68,000円

令和6年度予算

1. 収入の部

	令和6年度予算	令和6年度予算関係摘要	令和5年度決算	令和5年度予算
前期繰越金	757,663		862,610	862,610
卒業生入会金	70,000	令和6年度卒業生70名 × 1,000円	68,000	70,000
年会費・寄付	1,800,000	会費+寄付	3,228,000	1,800,000
雑収入	30,000	イベント参加費など	2,941,097	30,000
利息	2,000	定期貯金満期利息など	4,090	2,000
定期貯金 満期金	1,000,000	定期貯金 満期金	1,200,000	0
収入合計	3,659,663		8,303,797	2,764,610

2. 支出の部

	令和6年度予算	令和6年度予算関係摘要	令和5年度決算	令和5年度予算
活動費	400,000	学年会補助、U-20、卒業記念品、卒業アルバム、会費・懇親会の飲食代	394,938	250,000
通信費	800,000	会報送付、各種案内送付	726,378	700,000
印刷事務費	250,000	封筒作成、文房具、文書作成	207,054	250,000
会報作成費	500,000	会報第22号	484,000	500,000
慶弔費	20,000	弔電、香典、生花	0	10,000
HP関係費	40,000	HP 年管理運営費	63,074	170,000
備品費	30,000	資料室備品	0	30,000
修繕費	20,000	PC機器、資料室備品修繕	0	30,000
雑費	20,000	振込手数料他	20,690	20,000
事業準備引当金 繰入	1,500,000	定期貯金積み直し100万円、新規50万円	2,700,000	700,000
	—		2,950,000	0
予備費	79,663		0	104,610
次期繰越金	—		757,663	0
支出合計	3,659,663		8,303,797	2,764,610

上記を令和6年度予算として提出します。各科目の予算額に過不足が生じた場合は、会長の承認を条件として相互に流用できるものとする。

令和6年5月6日

経理 古澤正夫 本木京子

令和6年度 事業計画

① 学年幹事会

令和6年6月23日(日) 14時～16時 番町小学校 ランチルーム

② 執行部・事務局会議 新年交歓会 U-22 創立記念日懇親会 など

③ 資料室整備

④ 会報22号の発行及び発送

⑤ 同期会、クラス会へのバックアップ(開催費用の一部補助)

⑥ 同窓会HP更新

⑦ 名簿管理

⑧ 番町小学校行事への参加

⑨ 地域・愛育会行事への参加

⑩ その他 本会目的のための事業

令和5年度・令和6年度前期 (2023.4/1~2024.9/30)

寄付者 ご芳名
(敬称略)

令和5年度 (2023.4/1~2024.3/31)		
氏名	ID	金額
中里晴彦	S40-326	1,000,000
中里泰子 (ご逝去)	S38-147	
湖山泰成	S42-213	100,000
松島紗英子	H25-228	20,000
並木克己	S40-428	20,000
中嶋俊一	S47-323	20,000
豊島快兒	S41-224	10,000
西澤炤子	S15-131	10,000
降旗史子	S19-331	10,000
高梨直樹	S56-216	10,000
高橋 遠	S37-425	10,000
佐羽美穂子 (ご逝去)	S18-307	10,000
住野泰清	S38-418	10,000
山田素行	S54-424	10,000
杉村憲司	S40-519	10,000
渡辺知明	S48-428	10,000
山田 稔	S12-139	10,000
河野元嗣	S47-315	10,000
原 實 (ご逝去)	S17-118	10,000
西岡芳文	S44-127	10,000
杉浦滋彦	S33-218	10,000
鳥居 明	S41-226	10,000
米澤龍太郎	S63-124	10,000
北村 正	S44-414	10,000
宮入 守	S36-634	8,000
林 閏珠	S44-130	8,000
相山武仁	H27-202	8,000
大谷雄司	S35-213	8,000
本田光芳	S18-251	8,000
降旗健人	S16-445	8,000
新井 巖	S30-202	8,000
川並孝純	S53-107	8,000
井上精一	S17-339	8,000
吉岡 璋	S30-361	8,000
星野雅信	S42-228	8,000
御立尚斉	R02-228	8,000
遠藤英樹	S63-106	5,000
大熊禮子	S14-506	5,000
菊池宏信	S59-305	5,000
杉山充洋	S60-112	5,000
松本豊和	S35-235	5,000
渡邊愛佐	H20-231	5,000
中山康子	S40-446	3,000
小池郷子	S41-545	3,000
大石義和	S42-204	3,000
久保川幹夫	S43-511	3,000

氏名	ID	金額
海老塚 茂	S43-305	3,000
石橋義通	S42-504	3,000
岩村美生	S59-323	3,000
坂本 歩	S48-411	3,000
川村知重	S31-212	3,000
芳村雄仁	S29-233	3,000
新井信子	S12-303	3,000
岡野洋三	S41-209	3,000
斉藤久美子	S33-146	3,000
植芝恭子	S35-157	3,000
草刈隆郎	S26-218	3,000
岩瀬琢郎	S32-205	3,000
山名 彰	S41-235	3,000
小原正幸	S51-413	3,000
佐藤章一	S22-237	3,000
五宝訓光	S38-215	3,000
對間啓人	H24-215	3,000
對間康二郎	S51-120	3,000
今西誠一	S38-104	3,000
塚脇愛理	H19-230	3,000
塚脇彩加	H22-220	3,000
塚脇朱梨	H24-129	3,000
坪内文生	S33-425	3,000
荒川秀夫	S23-101	3,000
大里康子	S31-244	3,000
風間清貴	S37-508	3,000
由谷真一	H30-234	3,000
由谷英子	R03-137	3,000
夜久 広	H15-136	3,000
佐藤正幸	S41-216	3,000
横山英貴	S42-534	3,000
田口千恵	S42-548	3,000
三木信子	S41-149	3,000
碓 淳吉	S41-205	3,000
原 美鈴	S42-246	3,000
石黒麻利子	S48-243	3,000
尾原愛理彩	H28-901	3,000
井上良夫	S33-305	3,000
白倉洋一	S63-104	3,000
山崎典子	S35-257	3,000
杉村光嗣	H07-413	3,000
杉村賢吾	H08-209	3,000
長束成博	S42-426	3,000
高橋寿子	S42-355	3,000
松本信明	S54-420	3,000
鈴木淳彦	S39-221	3,000
吉野弘恭	S51-431	3,000
山田眞之助	S42-236	3,000
佐々木深雪	S44-444	3,000
福山正和	S33-131	3,000

氏名	ID	金額
杉村信寿	S44-117	3,000
木村仁美	S42-347	3,000
服部篤彦	S49-226	3,000
宮脇信介	S47-131	3,000
井上善雄	S51-407	3,000
中山久子	S44-453	3,000
長岡 真	S44-329	3,000
金 民世	S50-109	3,000
田原純子	S49-440	3,000
松井裕子	S38-554	3,000
大柴宏和	H13-307	3,000
南 雅文	S41-327	3,000
山城健二	S63-122	3,000
井上雄介	S60-404	3,000
大沼英之	S54-304	3,000
宮島敦史	S49-229	3,000
岡田衛生	S08-334	3,000
常間地 力	S50-212	3,000
前川和弘	S28-124	3,000
金子康雄	S40-108	3,000
永井秀哉	S33-522	3,000
井上直紀	H24-108	3,000
井上拓紀	H27-106	3,000
飯吉雅子	S28-137	3,000
藤田徹朗	S45-525	3,000
海老原順子	S42-342	3,000
青山茂樹	S59-101	3,000
正木美樹子	S20-930	3,000
猪口雄二	S41-504	3,000
杉田 隆	S41-121	3,000
白子千尋	S50-113	3,000
高橋伸彦	S50-213	3,000
鮫島和子	S33-346	3,000
望月慎太郎	S41-232	3,000
佐野正子	S44-152	2,500
乗杉輝彦	S41-427	2,000
小野里輝夫	S21-123	2,000
浜田敏男	S41-530	2,000
今津幸雄	S40-104	2,000
藤本英夫	S36-630	2,000
田中千景	H26-117	2,000
田中資雅	H28-111	2,000
田中貴子	S55-235	2,000
田中佑長	H24-321	2,000
笠木 俊	S34-445	2,000
田中啓子	S18-318	1,000
金澤陸生	S42-341	1,000
布村定雄	S24-108	1,000
布村行雄	S56-122	1,000
布村文雄	S58-319	1,000

氏名	ID	金額
宮岡萬里	S21-193	1,000
阪場敏之	S45-418	1,000
永田 穰	S20-156	1,000
西尾成子	S22-224	1,000
曾根康司	S59-311	1,000
野中和子	S35-444	1,000
土方 純	S38-226	1,000
勝俣みきえ	S56-430	1,000
森 民代	S33-350	1,000
坂田真一郎	S58-314	1,000
鳥山千枝子	S21-230	1,000
小倉裕貴	H20-305	1,000
小倉あかり	H24-113	1,000
本間 暁	S60-419	1,000
住田英夫	S28-313	1,000
石河 力	S49-304	1,000
三輪田 真	S38-129	1,000
遠藤 努	S58-203	1,000
浅原寛人	S41-301	1,000
中山義喜	H16-224	1,000
宮崎かをる	S13-406	1,000
遠藤 彰	S42-406	1,000
森 勇乃祐	H24-229	1,000
田中啓子	S18-318	1,000
市村美桜子	H28-203	1,000
市村有紀子	S61-131	1,000
押木愛椰	H30-109	1,000
奥田明子	S50-426	1,000
平井たま希	R01-226	1,000
齋藤 遼	R04-212	500
匿名	21件	113,000
1,900,000 円		

令和6年度前期 (2023.4/1~2024.9/30)		
氏名	ID	金額
石原 修	S46-303	10,000
桃原侑平	H18-125	3,000
松島貴美子	S50-137	1,000
14,000 円		

* 年会費の他、ご寄付をいただきまして誠にありがとうございます。
 * ベルマークも寄贈していただき、ありがとうございます。ベルマークは愛育会にお渡しし在校生の教材の購入に充てております。

クラス会・同期会報告

「クラス会報告」

昭和41年度卒 横溝陽一

1966年度卒6年1組のクラス会を、2017年11月以来6年ぶりの10月29日に赤坂清水谷公園の前にあるオーバカナル 紀尾井町で、17名の参加者を得て開催しました。私たち6年1組は、過去には2002年、2004年、2007年、2009年、2011年、2015年、2017年と時には2年に1度はクラス会を開催していたのですが、コロナ感染のためか、今回は久々の開催となり、楽しいひと時を送りました。

思い出せば、私たちは小学校1年の時に、番町小学校の90周年を迎え、今の上皇ご夫妻が皇太子・皇太子妃として来賓としてお越しになり式典を迎え、4年生の時には、東京オリピックが開催され、四ツ谷からも開会



式の空に浮かんだ五輪の輪を子供心に観た覚えがあります。4年生から6年生までクラス替えはなく、5年と6年を恩師麻生幸男先生の下で学び、2010年に亡くなられた麻生先生のごことは、今でも私たちが創って下さった先生として有り難く、心から感謝しています。次回は、全員が古希を迎えた2025年4月にクラス会を行います。奮ってご参加下さい。

「久しぶりの同期会」

昭和42年度卒 大石義和
(95回生同期会会長)

2024年3月9日、新橋の「新橋亭」で第95期同期会を開催しました。前回の開催がコロナ前の2018年2月でしたので6年振りの開催となりました。久しぶりの同期会とあって70名の同級生が集い、前回余裕だった会場が狭く感じるほど盛況でした。積もる話も多かったと思われ、約3時間の会は短かったのではないのでしょうか。最後にクラス毎の写真と全員での集合写真を撮影し閉会となりました。(お知らせ)教鞭をとられていた池田宮子先生(享年93歳)が逝去されました。番町時代の元同僚の教員、教え子らに見送られました。



「昭和38年度5組

クラス会開催ご報告」

松井裕子

卒業してから60年、2023年10月22日、竹橋にあるKKRホテル東京の皇居を見渡せる個室に於いて、22名の参加を得てクラス会を開催しました。

幹事4人(伊藤力・小島誠治・瀧章夫・松井裕子)で会場選定、皇居参観の設定、文集編纂(番町卒業60年)等を連携して進め、クラス会開始前に私の案内で2時間の皇居内特別参観を行って、秋晴れの下20名の方が普段見られない景色を楽しまれ、良い思い出が生まれました。

また、欠席した方14名を含む36名から寄稿いただいた近況・自由文を始め、遠足時や卒業記念の写真も入れて25頁に及ぶ文集を作りました。最前線で働いておられる方、お孫さんの成長を楽しみにされている方、大病をして人生観が変わった方など、同じ年齢でも様々な人生を送られているお互いの状況について良く知ることが出来ましたし、元気な姿を記念写真に残す事が出来ました。



令和5年10月22日 番町小学校6年5組 卒業60周年クラス会 於 KKRホテル東京

クラス内のライングループでは頻繁に食事を開催しており、このように仲の良いクラスメート達と同じクラスで過ごせた幸せを感じ、多くの人が集まるクラス会が末永く開催されることを期待しています。

番町小創立以前の幕末史

「番町小学校の周辺を歩いてみると」

新井巖（同窓会三元会長・六番町町会会長）

番町小学校は、大名屋敷の跡地だった

番町小学校の歴史は、すでにご存知だと思いますが、仮小学校から小学第二校として東京府から文部省に所轄が移された明治4年12月4日をもって、創立記念日としています。現在の地に越してきたのは、さらにその翌年の6月。この地は、幕末の頃は小幡藩松平撰津守の上屋敷、つまり大名屋敷だったところです。小幡藩（群馬県甘楽町）は、2万石という小藩でしたが徳川家の親藩の大名でした。さらにそれ以前の享保から天保にかけては火消御役屋敷で、いわば現代でいう消防署の官舎でした。

番町小学校の土地が大名屋敷であった以外は、この六番町はすべて旗本や御家人の屋敷でした。屋敷といってもあくまでも幕府から与えられた土地なので、役職が変われば移動させられるのですから、今の公務員の官舎のようなものだったのですね。頻繁に変わるので、幕末には「切絵図」が発行されたくらいでした。

不動の武家屋敷・成瀬隼人正上屋敷

例外的に、江戸開府から幕末まで屋敷が一度も変わらなかったのが、現在の四ツ谷駅前のプラザエフ（主婦会館）からその後ろの広大な土地を有していた成瀬隼人正（はやとのしよう）の上屋敷でした。成瀬家は代々尾張徳川藩の御付家老の家柄で、本来であれば大名に取り立てられるべきところを家康の命によって、御三家のお目付役の家老という役目を担ったのです。（付家老は、御三家すべてに存在していました）成瀬家は、尾張の犬山藩の藩主で、現在にも残る犬山城の城主でもあります。幕末から明治にかけての藩主は、成瀬正肥（まさみつ 1836-1902）で、明治維新後は子爵となっています。

ペリーと渡り合った旗本たち

また番町小学校の斜め向かいには、井戸覚弘（大内蔵 ？-1858）という旗本の屋敷でした。彼は幕末の頃、北町奉行、外国奉行、長崎奉行などを歴任し、黒船の再来航（1854）の際は米国使節応接掛を命ぜられ、交渉に従事し日米和親条約を締結しています。交渉相手のペリーも、日記に「50歳位で背が高くかなり太っているが好感が持てる風貌で、駐イギリス公使ブキャナン（後の大統領）に似ている」と記しており、彼を高く評価していました。さらに下田港開港のために下田で、5月に日米和親条約付録に調印。1856年には旗本の最高職である大目付となりますが在職中に亡くなっています。ちなみに、彼が北町奉行であった時期は、南町奉行は遠山の金さんこと遠山景元でした。なお角川日本地名大辞典の『東京の地名』という大部の資料に「六番町」の項で、遠山景元の屋敷があったと書かれています。これは誤りです。（同じ遠山でも別人）

幕府に殉じた二人の旗本兄弟

幕末の頃に、徳川幕府に殉じた兄弟をご紹介します。兄は、川路聖謨（としあきら 1801-68）と言って、勘定奉行、外国奉行など幕府の多くの要職を歴任し、たびたび左遷されつつも、事あるごとに復活して抜擢されるという優秀な幕臣でした。中でも長崎に来航したロシア使節プチャーチンとの交渉にあたり、1854年に日露親親条約に調印しています。プチャーチンも彼を「ユーモアがあり、ヨーロッパに出しても通用するしたたかな外交官」と評しています。彼の晩年の住まいは、番町小学校の北側の通りの三年坂の西角にあり、彼の孫で川路の家督を譲った太郎の屋敷でした。ここで隠居生活を送っていましたが、江戸開城の知らせを聞くと、その翌日に幕府に殉じてピストルで自決しています。当初は割腹するつもりのようなようですが、中風のために刀では死にきれずピストルで喉を撃ち抜いて果てたのです。彼の生涯を作家の吉村昭は「落日の宴 勘定奉行川路聖謨の生涯」（講談社文庫）として詳しく描いています。

川路の実弟・井上信濃守清直（1809-1868）の屋敷も、現在の「番町の庭」の場所にありました。彼も、兄と同じように、さまざまな役職につきながら拔擢左遷を繰り返した旗本でした。それだけ、当時の幕府の政策に一貫性がなかったという証左でもあります。彼は老中阿部正弘によって下田奉行に拔擢され、アメリカ総領事ハリスが下田に到着すると応接係を担い、日米修好通商条約に調印します。さらに外国奉行も兼任してロシア、フランス、イギリスとも通商条約を締結。しかし、將軍継承問題で大老井伊直弼によって左遷させられます。その後復権し、1866年に北町奉行になります。当時は、薩摩の西郷らが幕府を挑発するために、浪人たちに火付や強盗などをさせて江戸を混乱に陥れさせます。そうした事態を收拾するために奔走しますが、町奉行在任中に亡くなっています。まさに過労死だったのでしょう。

さらに、現在の「番町の森」に屋敷があったのが、旗本の筒井政憲（まさのり 1778-1859）です。彼は南町奉行を20年間勤めた人で、外国奉行だった栗本鋤雲からも、大岡忠相にも比すべき名奉行であったと評されています。彼もまたこの時代の幕臣の例に漏れず、開国を迫る外国との折衝役を担い、先の川路聖謨と共にロシア使節のプチャーチンとの交渉にあたっています。

一般には、当時の江戸幕府は、海外からの対応では幕臣は交渉下手で、開国を迫る諸外国の要求に右往左往したというのが定説のようでしたが、最近の研究からは当時の交渉記録などを見ても、意外に毅然としていたたかに交渉していたことがわかってきました。

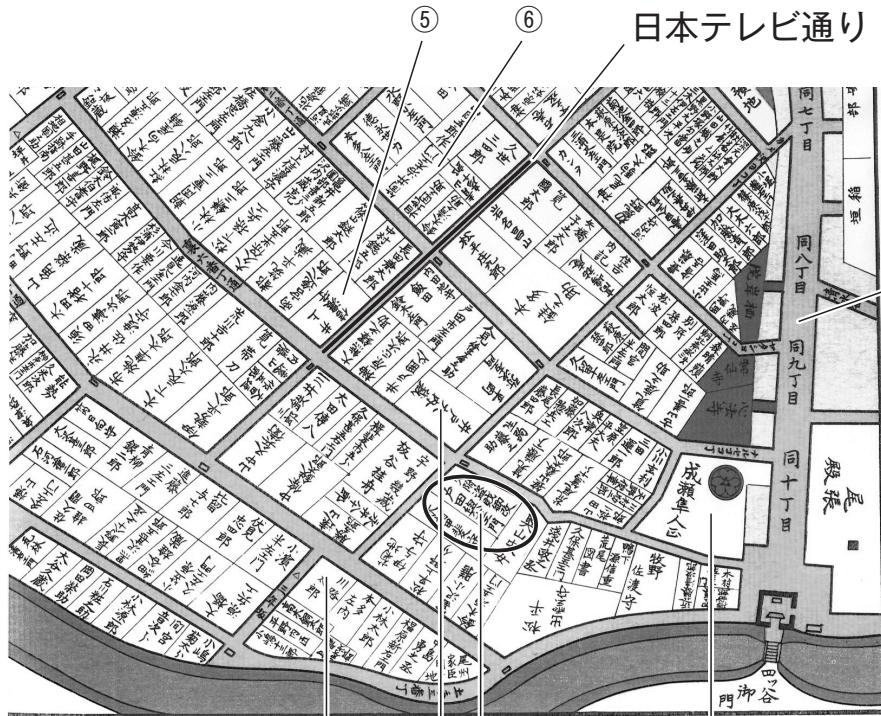
このように、番町小学校の周辺は、まさに激動の幕末史の舞台だったことがよくわかります。こんな歴史を想像しながらのまち歩きをするのも一興ではないでしょうか。

●幕末史にご興味ある方へ

『落日の宴 勘定奉行川路聖謨』（吉村昭著・講談社文庫）

『官僚川路聖謨の生涯』（佐藤雅美著・文春文庫）

『江戸奇人伝 旗本・川路家の人びと』（氏家幹人著・平凡社新書）
 『軍艦奉行木村撰津守』（土井良三著・中公新書）
 『大久保一翁最後の幕臣』（松岡英夫著・中公新書）
 『竜馬がゆく』（司馬遼太郎著・文春文庫）
 『胡蝶の夢』（司馬遼太郎著・新潮文庫）
 『花神』（司馬遼太郎著・新潮文庫）
 『幕末外交と開国』（加藤祐三著・ちくま新書）
 『番町廻町「幻の文人町」を歩く』（新井巖著・言祝舎）
 （その他、数多くありますが、一部絶版のものもあります）



番町切絵図の一部

- ① 成瀬隼人正屋敷
- ② 松平撰津守上屋敷（番町小学校）
- ③ 井戸寛弘屋敷
- ④ 川路聖謨自決の地
- ⑤ 井上信濃守清直屋敷
- ⑥ 筒井政憲屋敷

若き同窓生の活躍

令和6年5月31日の毎日新聞の記事に「一力遼本因坊 2連覇」という記事がありました。一力遼本因坊は、囲碁のタイトルである棋聖、天元と本因坊の3冠を堅持しました。さらに9月8日に中国・上海で行われた「第10回応氏杯世界選手権」で中国の謝科九段に勝って初優勝を飾り、日本代表棋士として19年ぶりに世界一に輝きました。一力遼氏は平成21年度の番町小学校の卒業生です。同窓会と致しましても若き本因坊の活躍に注目し、これからも応援していきたいと思えます。



一力遼(いちりき りょう)
1997年6月10日生まれ。仙台市出身。2010年プロ入り。14年新入王。20年に初の7大タイトルとして棋聖を獲得。同年に天元を獲得し2冠に。22年に棋聖獲得。23年に本因坊と天元を獲得し3冠に。24年に棋聖3連覇。河北新報社の取締役。日本棋院東京本院所属

毎日新聞 令和6年9月10日記事

一力遼(いちりき りょう)
1997年6月10日生まれ。仙台市出身。2010年プロ入り。14年新入王。20年に初の7大タイトルとして棋聖を獲得。同年に天元を獲得し2冠に。22年に棋聖獲得。23年に本因坊と天元を獲得し3冠に。24年に棋聖3連覇。河北新報社の取締役。日本棋院東京本院所属



市ヶ谷駅「長生の園」

番町小学校から最寄りの市ヶ谷駅の改札内の床に、大きな囲碁のモザイクアート「長生の園」が設置されています。市ヶ谷は囲碁の総本山である「公益財団法人・日本棋院」が駅から徒歩五分のところにあります。館内には囲碁殿堂資料館もあります。将棋は千駄ヶ谷、囲碁は市ヶ谷が聖地と言われており、番町小学校にいらっしやる時に、囲碁と関わりの深い市ヶ谷の地も是非散策されてみて下さい。

★ホームカミング Over 55 お知らせ★

令和6年12月1日(日) 午後13時～16時
番町小学校 講堂(記念資料室 公開)
茶話会(会費2,000円)

12月4日の創立記念日に合わせたホームカミングデーです。お友達をお誘いの上、懐かしい学び舎に集まりませんか？

○申込み 55歳以上の会員の方に往復ハガキをお送りいたします。

出欠の返信をお願いします。または

<https://bancho-obog.com> から、「ご案内」ホームカミングデーをクリックし、お申し込み下さい。

○締め切り 令和6年11月15日

○問い合わせ 番町小学校同窓会事務局

(080・3012・1001)



《編集後記》

・あつという間の一年！「会報」の構成、原稿依頼、印刷所との白熱したやりとり！すべてキムコ編集長がこなしてくれました。もうすこし役に立つようになりたいわぁ。(S)
・コロナ禍の会報作成は千載一遇の経験でした。千葉益世先生！滝本春夫先生！そして、同窓会の歴史と我が人生の運命的交錯に感じる時の流れに心より感謝申し上げます！(E)